

お誕生日おめでとうございます

8月12日 さん  
87歳の誕生日  
皆さんからの祝福に「とても嬉しいです。ありがとうございます。」とお礼を言い、プレゼントをもらい「なんだろうーいろいろ入っている、これ靴下だ、はきやすそう〜いいね!」と話されていました。周りの方から「若く見えるものね、87才にみえないねーかわいい顔してるもの」と声を掛けられて「ホント!うれしい〜」と照れながら答えていました。

8月18日 さん  
73歳の誕生日  
前月から誕生日を意欲されながら過ごされ、当日は朝からソワソワものすごく緊張されていました。誕生会が始まるとすぐに皆さんに「本日は本当に有り難うございます」と、はっきりした口調でお礼を言われて、プレゼントにジャケットをもらい、「素敵だ!見せて見せて」と皆さんからせがまれ、オシャレな雰囲気の色にと喜んでいました。

8月24日 さん  
95歳の誕生日  
「お誕生日おめでとうございます」と声を掛けるととっても驚いた様子でした。「すごいですね、もう95才なんですね!」と話され、和やかな時間が続く「とても嬉しいですね、有り難うございます。フフフ・・・」と笑い、とシャクやかにお誕生会を過ごしていました。最後にスタッフに「来年も宜しくお願いしますね!」と笑い笑っていました。

8月30日 さん  
93歳の誕生日  
皆さんから色紙やプレゼントを受け取り「有り難うございます。」と丁寧に礼を言っていました。プレゼントの方は「いいって・・・」と少し照れながら遠慮がちに受け取られていましたが、息子さんから届いたお花にとっても喜ばれ、大好きなお花と一緒にとてもいい笑顔で写真に撮られていました。満面の笑顔です!

鷹ノ巣福祉村フェスティバル (8月18日)

毎年この地域の夏祭りを楽しみにしているのですが、この日はあいにくの天気で朝から雨が降り日中の太鼓やダンスも一部中止となってしまいました。スタッフは、なんとか皆さんをお連れしようと、天気予報を見たり、空を眺めたり、会場を下見したりなどするのですが、降ったり止んだり雨足が強かったりと、とても不安定な天気なので残念ながら日中お祭りを観に行くのを取りやめ、会場の屋台でつまそうなものをドッパリ買い込み、花で昼食をとりました。

た。場所はいつもの食卓テーブルで食べるのですが、いつもと違う雰囲気のスティックお好み焼き、あげだこ、焼き鳥、おでん、焼きそばなどの食事に意外と満足され「これも楽しいね」「前に行ったときはカラオケ歌ったり、踊り見たり楽しかったよ...」と会話も弾んでいました。夜の部では希望者を募り入居者様のさんとスタッフで総勢12名仮装盆踊り大会に出場してまいりました。屋台でビールなどをたくさん飲み、酔いがほどよく回り、好きなものを好きなだけ食べていざ出陣です。「目指すは優勝!」を合言葉に、おかしな姿をして踊る花の軍団は、全員楽しげです。写真を見ても分かるように、仕事抜きでみんなニコニコ!! 楽しいひと時です。結果いっぱい表彰されましたが、最高順位は個人の部でさんが笑えある優勝を頂きました。もちろんその他にも山積みみのできるだけの賞品を獲得して、入居者様も「こんなにもらったんだね! すごいですね!」と言われ、全員大満足の夜でした。



鷹栖神社祭 (8月20日)

日頃初詣や花見でお世話になっている近くの鷹栖神社でお祭りがあり、希望者を募り行ってまいりました。威勢の良いパビ姿の若者が神輿を担ぐ姿を目の前で見たり、露店で飲食したりして「うまいもの食べてポニーとしてのものいいもんだね」言いながら、ゆったりした時間を楽しんでいました。しばらくするとそんな時間と気分を突然の大雨降に流れてしまい「帰れないかと思ったアハハハ」とフットとやってきたハブニングに入居者様もビックリしておりました。

スイカ収穫 (8月22日)

今年はスイカが大豊作で、66個も収穫できました。5年前にもたくさん取れたことがあり、久しぶりの大豊作に入居者様にもいっぱい食べていただくことが出来ました。「今年のスイカも皮が薄くて真っ赤、すごく甘いですね! いい!」と、すごく喜んでいました。食べきれないのでご近所や日頃お世話になっている皆さんへお配りすると、こちらも評判がよく喜んでいただけました。



七夕 (8月7日)

夏の熱さもピークとなり、涼しさを求めて七夕行事を行いました。夕食は流しソーメンを行い、まずは腹ごしらえです。この夏5回目となる流しソーメンですが、その方によってはとても新鮮に感じていただき「こんなの初めてやるよ」と言われ、種類が苦手な方も「おいしいね!」と言われます。今回もソーメンの他色々な食べ物を流し、「来た来た!!」「うめーぞー」と言い、スタッフに「取れないのー」と言っている方も、しっかり色々なものをつゆのカップに入れていました。お腹がふくれると今度は余興の始まります。のエアーマットで踊ってこいよ」を熱演、ベンベンペー...

ン・・・と場を盛り上げていただき、アカペラの歌が飛び交い楽しく時間が過ぎていきます。その後は天気も不安定なこともあり、少しの休憩をはさむとちょうどよく薄暗くなり、花火の始まりです。吹き出し花火から始まり「わー・・・!! 綺麗だね、こんなに近くで見れるなんて!」と鮮やかな光に皆さん見取れています。続いて手持ち花火をすすると目も輝かせて、花火を回して閃光で輪を描いて「あ〜懐かしいなあ」話され、またもう一本渡すと「あら! ありがとう」と言われ、それが終わると「いやあーきれいだねーまたもう一本やらせてよ!」と花火の魅力に引き込まれておりました。

その他の方も「いやーきれいな色しているね」などとても気に入られ、夏の風情をたのしまれていました。人によっては「熱そう!」「なんだか恐いね・・・」と話される方もいましたが、時間がたつに従い笑顔で花火を握りしめていました。花火の次はスタッフによる七夕劇を行い、下手ながらも一生懸命演じたのが功を奏したのか、入居者様も笑いどころを見のかさず笑っていただいていたのでスタッフも満足げな表情が伺えました。最後の締めは、スイカをたくさん食べていただき「お腹いっぱい、もう沢山です!」「幸せ!」と言っていた皆さま!

琴のしらべ (8月27日)

花で初めて琴の演奏会を行いました。琴の音色はよく耳にする機会がありますが、実際に目の前で琴を見るのは初めての人がほとんどです。入居者様も素敵な楽器のイメージがあり、また前から聞き覚えのある音色でもあり、とても楽しみにされていました。その方によっては「いやー懐かしいね、娘に習わせたよ、発表会があれば着物も一回一回染めてあげたしね、私が出来なかつた分、娘にはね、親ばかりだつたよね!」と話される方もあります。3台の琴が並び「さくらさくら」「赤い靴」「荒城の月」「東京音律」など童謡や歌謡曲が演奏され、皆さん自然と歌を口ずさんでいました。「この歌知っているよ」と歌い、また歌えない曲は鼻歌や体をゆらして音色に慕っていました。入居者様の満足度が高いひと時でした。

施設長コラム

秋になると海には鮭が寄ってきます。花では毎年敬老会に合わせて収穫祭があり、その席でチャンチャン焼きをするのですが、そこで食べる鮭の調達責任者が私になります。花には私が釣ってくる鮭を楽しみにしている入居者様とスタッフがいいると勝手なことを思い込み、その口実のもと毎年海に向かって車を走らせます。勝手なプレッシャーを自分にかけてやっています。こんな事でもなければ釣りなど行けないので「必ず釣ってくるぞ!」と宣言して出かけています。花を開設してから欠かさずチャンチャン焼きをしています。昨年までの成績は6勝1敗の確率で鮭を確保しています。ただ一回だけ釣れなかったときがあり、むなし気持ちで魚屋に買った悲しい思い出があります。今年は何本釣れるか楽しみです!

